

アドアーズ

(4712・JASDAQ スタンダード)

2011年10月17日

12年3月期の業績は利益面の改善が顕著

リサーチノート

モーニングスター（株）
藤井 知明

主要指標 2011/10/13 現在

株 価	69 円
発行済株式数	124,557,592 株
時 価 総 額	8,594 百万円

直前のレポート発行日

ベーシック	2011/03/08
アップデート	2011/06/16

業 績 動 向	売上高 百万円	前期比 %	営業利益 百万円	前期比 %	経常利益 百万円	前期比 %	当期純利益 百万円	前期比 %	EPS 円	
2011/03 実 績	25,945	-0.3	263	-68.9	74	-88.2	-4,197	赤転	-39.77	
2012/03	新・会社予想 (2011年08月発表)	24,000	-7.5	1,000	3.8倍	800	11倍	700	黒転	5.98
	旧・会社予想 (2011年05月発表)	24,000	-7.5	900	3.4倍	700	9.5倍	450	黒転	4.26
	新・アナリスト予想 (2011年10月発表)	24,000	-7.5	700	2.7倍	500	6.8倍	490	黒転	4.07
	旧・アナリスト予想 (2011年06月発表)	24,000	-7.5	450	71.1	350	4.7倍	230	黒転	1.91

12年3月期第1四半期の業績は大幅な増益に

12年3月期第1四半期の非連結業績は、売上高6,198百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益477百万円（同3.0倍）、経常利益441百万円（同4.0倍）と増収・大幅増益。純利益についても、人事制度の変更による特別利益の計上などから、617百万円（前年同期は33百万円）となった。この要因としては、主力事業であるアミューズメント施設運営事業において、売上高4,631百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益539百万円（同2.8倍）と、減収ながら大幅な増益を確保したことが大きい。各種集客施策・運営体制の転換を進め、既存店売上高は前年と同水準を概ね維持した一方、償却費の減少や人件費の圧縮、各種コストの削減などが寄与した。

こうした第1四半期の状況などから、会社側では12年3月期通期の業績予想を上方修正。営業利益は900百万円から1,000百万円に、経常利益は700百万円から800百万円に増額した。なお、純利益は7月26日発表した修正分も含め、期初予想の450百万円から700百万円に増額されている。

モーニングスターの業績予想でも営業利益を見直し増額

一方、モーニングスターでは、12年3月期通期の業績予想を売上高24,000百万円、営業利益450百万円と予想していた。主力事業であるアミューズメント施設運営事業において、利益の改善は会社計画よりも小幅に留まると見ていたためである。ただ、第1四半期のコスト削減等は順調に進んでおり、第2四半期以降もある程度改善が見込まれる。足元では不採算店舗など10店舗（震災で被害を受けた2店舗を含む）を閉店しており、下期はこれによる赤字額減少も見込まれるため、モーニングスターでも営業利益予想を見直し増額する。ただ、既存店の集客施策等でコストが膨らむ可能性や、既存店の損益改善が想定通りに進まない可能性を考慮し、現時点での営業利益予想は700百万円にとどめた。年間で最も売上高が大きい第2四半期の状況を確認したうえで、12年3月期及び13年3月期の通期見直しについて再度検討する方針である。

ディスクレーム

1. 本レポートは、株式会社大阪証券取引所（以下「大証」といいます。）が実施する「JASDAQアナリストレポート・プラットフォーム」を利用して作成されたものであり、大証が作成したものではありません。
2. 本レポートは、本レポートの対象となる企業が、その作成費用を支払うことを約束することにより作成されたものであり、その作成費用は、当該企業が大証に支払った金額に大証からの助成金を加えたうえでモーニングスター株式会社（以下「レポート作成会社」といいます。）に支払われています。
3. 本レポートは、大証によるレビューや承認を受けておりません（ただし、大証が文面上から明らかに誤りがある場合や適当でない場合にレポート作成会社に対して指摘を行うことを妨げるものではありません）。
4. レポート作成会社及び担当アナリストには、この資料に記載された企業との間に本レポートに表示される重大な利益相反以外の重大な利益相反の関係はありません。
5. 本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的として作成されたもので、有価証券の取引及びその他の取引の勧誘又は誘引を目的とするものではありません。有価証券の取引には、相場変動その他の要因により、損失が生じるおそれがあります。また、本レポートの対象となる企業は、投資の知識・経験、財産の状況及び投資目的が異なるすべての投資者の方々に、投資対象として、一律に適合するとは限りません。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、投資者ご自身の判断でなされるようお願いいたします。
6. 本レポート作成にあたり、レポート作成会社は本レポートの対象となる企業との面会等を通じて、当該企業より情報提供を受けておりますが、本レポートに含まれる仮説や結論は当該企業によるものではなく、レポート作成会社の分析及び評価によるものです。また、本レポートの内容はすべて作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
7. 本レポートは、レポート作成会社が信頼できると判断した情報に基づき記載されていますが、大証及びレポート作成会社は、本レポートの記載内容が真実かつ正確であり、そのうちに重要な事項の記載が欠けていないことやこの資料に記載された企業の発行する有価証券の価値を保証又は承認するものではありません。本レポート及び本レポートに含まれる情報は、いかなる目的で使用される場合におきましても、投資者の判断と責任において使用されるべきものであり、本レポート及び本レポートに含まれる情報の使用による結果について、大証及びレポート作成会社は何ら責任を負うものではありません。
8. 本レポートの著作権は、レポート作成会社に帰属しますが、レポート作成会社は、本レポートの著作権を大証に独占的に利用許諾しております。そのため本レポートの情報について、大証の承諾を得ずに複製、販売、使用、公表及び配布を行うことは法律で禁じられています。

<指標の説明について>

本レポートに記載の指標に関する説明は、大阪証券取引所ウェブサイトに掲載されております。

参照 URL ⇒ <http://www.ose.or.jp/jasdaq/5578>